



INDEX

・ 鳥インフル過去最多発生のおそれ！ －今シーズンの鳥インフルエンザに対する防疫措置の再徹底について……………	1
・ 令和5年 鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について……………	4
・ 「いいたまごの日」(11月5日) イベント実施報告……………	6
・ 統計データ……………	8
・ 協会活動報告……………	9

鳥インフル過去最多発生のおそれ！

－是非ご一読ください－

今シーズンの鳥インフルエンザに対する防疫措置の再徹底について

環境中のウイルスの量は全国的に高まっているといわれている今シーズンの鳥インフルエンザの発生、11月末時点で、21件341万羽の発生を見ており、既に昨シーズンの殺処分羽数を超えています。

薬もワクチンもない中での見えざる敵ウイルスとの戦いは圧倒的に不利ですが、鶏も人間と同じで、ある一定量以上のウイルスが体内に侵入しなければ病気にはなりません。この事実を活かして、皆さまの農場でも今一度防疫措置を確認してみてください。

今シーズンの発生状況を踏まえ、これまで以上に、以下の対策を徹底することが重要です。

- ① 鶏舎に出入りする従業員等に、消毒、長靴交換等の重要性を説明し、適切に消毒や長靴の交換ができているか再度確認
- ② 農場内や家きん舎周囲の消毒は毎日行う
- ③ 家きん舎等への出入り時に、消毒の実施、長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、点検・確認
- ④ 長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換
- ⑤ 家きん舎内へのネズミや野鳥等の小動物の侵入防止のための防鳥ネットの設置や鶏舎の小さな隙間等の修繕
- ⑥ 農場周辺の消毒等防疫対策の徹底



加えて、昨シーズンの発生で以下の点が必要な防疫措置として浮上しました。

- ① 農場周辺や農場内の水場等へ可能な限り野鳥等を呼び込まない対処
- ② 野鳥等を可能な限り堆肥舎に呼び込まないよう、鶏糞堆肥舎への防鳥ネットの設置若しくはその修繕
- ③ 野鳥等を可能な限り農場に呼び込まないよう、死鳥をコンポストに混入することへの対処

人間同様、鶏の免疫力を高める飼養管理も大切で、特に誘導換羽前後の鶏の健康状態には注意が必要です。

また疫学的に解明されていませんが、排吸気口や扉等からのウイルスの侵入も否定できないと日本養鶏協会では考えています。排吸気を止めるわけにはいきませんが、扉の開閉をなるべく少なくする等の建物や動線管理上の工夫が可能であれば防疫措置の一つとして検討いただければと思います。

最後に、経営者の方や農場の長だけではなく、そこで働くすべての方々に、以上の防疫措置の考えが広く行き渡ることが大切です。経営者の方をはじめ管理者の方は特によりしくお願いいたします。

今シーズンのウイルスとの戦いは始まったばかりですが、既に非常に厳しいものになっています。当協会として皆さまの経営に寄り添ってできる限りのことをさせていただく所存ですが、皆さまも緊張感を絶やすことなく基本的な防疫措置を確実にしていただくよう重ねてお願いいたします。

■ [鳥インフルエンザに関する情報（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■ [令和4年度 鳥インフルエンザに関する情報について（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/220929.html)

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/220929.html>

■ [高病原性鳥インフルエンザ及び低病原性鳥インフルエンザ発生に係る生産者支援対策等（農林水産省）](https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/shien_taisaku.html)

https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/shien_taisaku.html



農場周辺の**高病原性鳥インフルエンザのウイルスが非常に多くなっています！**



全国的に高病原性鳥インフルエンザの発生が確認されています。
これまで以上に、本病の発生予防を徹底しましょう！



家きん舎への人や、野生動物によるウイルスの侵入を防ぐことが特に重要です！

発生予防対策の特に重要なポイント

- 農場内や家きん舎周囲の**消毒は毎日**行いましょう！
- 家きん舎等への出入り時に**消毒の実施・長靴の交換が適切にできているか、動線が交差していないか、今一度、点検・確認**をお願いします！
- **長靴はしっかり汚れを落としてから消毒し、踏込消毒槽などの消毒薬は少なくとも毎日、汚れたらその都度、交換**しましょう！
- 農場内や家きん舎の周囲には**ウイルスが侵入する経路が多く存在**していますので、今一度、**点検・確認**をお願いします！



◆ 飼養家きんの毎日の健康観察を念入りに行い、異状を見つけた場合は、直ちに最寄りの家畜保健衛生所に連絡してください。

農林水産省HP「鳥インフルエンザに関する情報」→

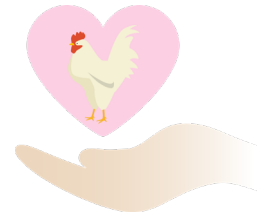




令和5年 鳥インフルエンザ経営再建保険の募集について

会員の皆さまが安心して採卵養鶏業に従事できるよう、鳥インフルエンザに感染した場合に経営再建を目指す採卵農家を（一社）日本養鶏協会は全力でサポートします。

会員の皆さまへは11月17日（木）に関係書類一式を送付させていただきましたが、令和5年の補償内容等、以下概要をご案内いたします。



■ 鳥インフルエンザ経営再建保険（令和5年契約版）

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

令和5年 鳥インフルエンザ経営再建保険

（1）募集要領

申込期限	令和5年1月6日（金）
保険料払込期限	令和5年1月13日（金）
保険期間	令和5年2月1日（水）～令和6年1月31日（水）（1年間）
保険料	成鶏1羽あたり3.74円、育成鶏1羽あたり1.87円

（2）補償内容

個別補償限度額	成鶏1羽あたり430円 育成鶏1羽あたり180円
年間総支払限度額	12億円支払（保険料3億以上の場合）

（3）補償対象

経営再建を問わず、保険金を一括でお支払いします。

【ご注意】大量発生等により年間支払限度額を超える支払が想定される場合はその限りではありません。

（4）引受保険会社

共栄火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社

自然災害での補償保険

（1）保険契約者

一般社団法人日本養鶏協会

（2）加入対象者

鳥インフルエンザ経営再建保険に加入している（一社）日本養鶏協会の会員



(3) 加入対象農場
鳥インフルエンザ経営再建保険に加入する農場

(4) 保険期間
令和5年2月1日（水）より1年間

(5) 補償内容
下記のような災害が原因により鶏舎内の鶏死亡を補償
① 基本補償：火災、落雷、爆発、風災・雹（ひょう）災・雪災・水災
② オプション補償：熱波、寒波

(6) 補償金額・保険料（1羽あたり）
令和5年より成鶏の基本補償の保険料が3.30円に改訂されます。
（令和4年の成鶏の基本補償保険料は3.20円）

		成鶏	育成鶏
基本補償	補償金額	430円	180円
	保険料	3.30円	1.40円
オプション補償	補償金額	430円	180円
	保険料	12.90円	5.40円

※オプション補償には、免責歩合（加入羽数に対し0.5%）および縮小支払割合（80%）を設定。

(7) 総支払限度額（年間）

基本補償	12億円
オプション補償	12億円

(8) 加入の条件
自然災害保険制度に加入する場合の条件は、下記のとおりです。
① 鳥インフルエンザ経営再建保険に加入していること
② オプション補償に加入する場合は、基本補償への加入が必要。
（オプション補償のみの加入はできません。）

既加入者の皆さまはよくご存じのことと思いますが、本保険は日本養鶏協会会員様限定で加入することのできる団体保険となっております。年に一度のこの機会に、ぜひご加入をご検討ください。

【お問い合わせ】

業務第1部 Tel : 03-3297-5515



「いいたまごの日」(11月5日) イベント実施報告

【日時】令和4年11月5日(土) 10:00~14:30

【場所】東京栄養食糧専門学校(東京都世田谷区池尻2-23-11)

11月5日は「いいたまご(1105)の日」。今年も一般社団法人日本卵業協会、一般社団法人日本養鶏協会の共同開催にて、農林水産省の後援をいただきイベントを開催いたしました。

新型コロナ対策のためリモート開催形式が続いていましたが、今回は3年ぶりに全員が一堂に会する従来の形式にて実施いたしました。日鶏協:杉原会長は、開会あいさつの後、審査員としてイベントに参加しました。

行事の概要は、まず8回目を迎える「たまごニコニコ料理甲子園」。今年は、全国から1,000件を超える応募があり、予選を勝ち抜いた全国6地域の高校生チームによる創作料理の調理について厳正な審査を行い、グランプリを筆頭に6賞の受賞が発表されました。

👑 グランプリ受賞作品

「たまつくね ふわたまのせ」

近畿エリア:京都府-長谷川さん



👑 準グランプリ受賞作品

「切っても!またたまごフラワー!」

関東エリア:千葉県-藤原さん



👑 その他

- デリシャス賞:「疲れに勝つ!卵カツ!」中国・四国エリア:岡山県-犬飼さん
- アイデア賞:「ふわふわ雲パンのサンドイッチ」北海道・東北エリア:秋田県-佐々木さん
- 栄養満点賞:「れんこんのピカタ」九州・沖縄エリア:佐賀県-目野さん
- 彩(いろどり)賞:「彩りたまごエビシウマイ」北陸・東海エリア:静岡県-斎藤・山口さん



きじまりゅうたの料理ショー

後半は、参加の高校生チームを対象とした、料理研究家きじまりゅうた先生による実演・講演を実施。

きじま先生の軽妙なトークを交えつつ、2種類の料理を紹介。参加者の皆さんは、午前中の緊張・疲れも忘れ、先生と一体となり新しいメニューの体験を楽しんでいました。



たまごのアヒージョ



青菜ときくらげ卵炒め

(写真提供：鶏鳴新聞社)

■ [たまごニコニコ大作戦-たまごニコニコ料理甲子園](http://www.nichirankyo.or.jp/tamaniko/)（（一社）日本卵業協会）

<http://www.nichirankyo.or.jp/tamaniko/>

「いいたまごの日 ロゴマーク」をご活用ください

マークのご利用を希望される方は、下記のWEBサイトをご参照の上、当協会までご連絡ください。

■ [「いいたまごの日 ロゴマーク」の使用について](http://www.jpa.or.jp/news/gyosei/20191011/)

<http://www.jpa.or.jp/news/gyosei/20191011/>



【お問い合わせ】

業務第3部 Tel:03-3297-5515



統計データ



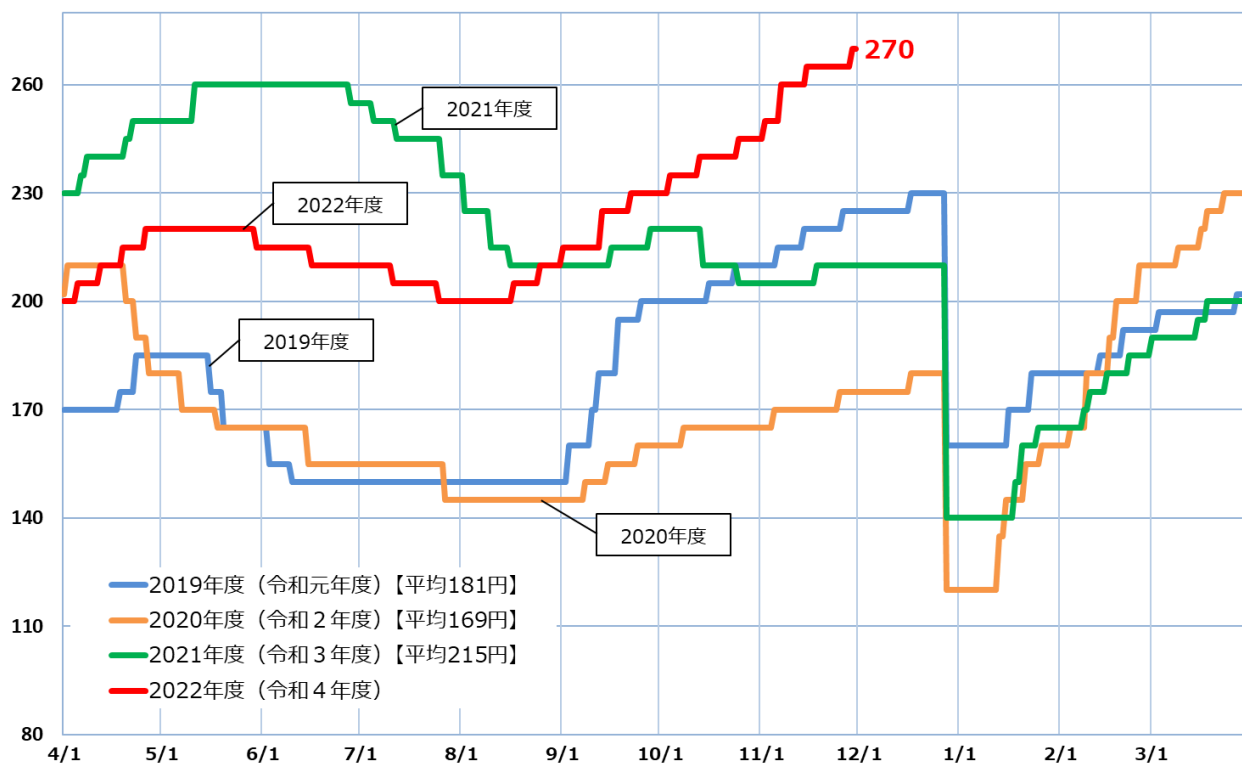
鶏卵相場動向 — 過去10年間の11月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成25年	260	298	219
平成26年	242	263	234
平成27年	252	273	244
平成28年	231	253	216
平成29年	228	248	219
平成30年	195	213	189
令和元年	219	243	204
令和2年	171	195	159
令和3年	207	230	199
令和4年	262	292	239
平均値	227	251	212

令和4年11月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）の高値292円は、過去10年の平均値251円を41円上回り、安値239円は、過去10年の平均値212円を27円上回っています。



鶏卵相場推移 2019年度～2022年度 東京全農Mサイズ 円/kg



鶏卵相場は8月中旬から上昇傾向にあり、11月末は270円まで上がりました。今シーズンも鳥インフルエンザ発生の影響に注視が必要です。



鶏卵関係主要計数 —— 令和4年9月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(g)	前年比	前年	本年
3年 10月	9,696	108.0%	463	94.2%	942	95.9%	164	213
11月	9,057	101.2%	485	102.8%	924	97.4%	171	207
12月	9,574	111.3%	526	99.3%	946	93.9%	178	210
4年 1月	8,535	100.2%	461	101.8%	927	97.5%	142	151
2月	8,670	97.5%	450	102.4%	895	97.3%	183	175
3月	9,248	102.3%	515	101.8%	959	101.7%	220	195
4月	8,843	91.6%	485	102.2%	917	93.8%	241	211
5月	9,302	101.3%	480	103.3%	936	93.3%	258	219
6月	8,450	83.8%	489	102.5%	862	97.6%	259	213
7月	9,018	91.4%	438	94.5%	916	101.4%	245	205
8月	8,482	104.2%	467	103.3%	877	95.8%	215	204
9月	7,826	87.7%	461	99.0%	882	97.9%	213	223
1年間合計 平均(%)	106,701	98.4%	5,720	100.6%	10,983	97.0%	207(平均)	202(平均)

- ・雛餌付羽数は、7,826千羽（前年比87.7%）と前年比12.3%減となりました。
- ・配合飼料出荷量は、461千トン（前年比99.0%）と前年比1.0%減となりました。
- ・鶏卵の家計消費量は、882グラム（前年比97.9%）と前年比2.1%減となりました。
- ・鶏卵相場は、前年平均の10円高を示しました。

協会活動報告



鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

① 価格差補填事業の事業参加者との
契約数量（トン/月当たり）

令和 元年度	167,141
令和 2年度	163,160
令和 3年度	153,391
令和 4年度	149,558

② 標準取引価格
令和4年11月 255.39円/kg

③ 補填基準価格 181円/kg
安定基準価格 159円/kg

日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会
〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号 馬事畜産会館内(5階)
Tel：03-3297-5515 Fax：03-3297-5519 発行日：2022年12月2日
編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)